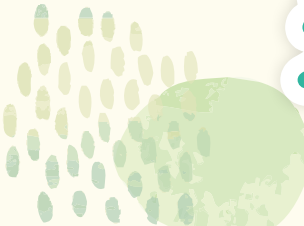
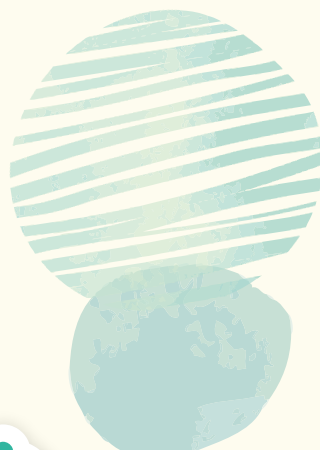


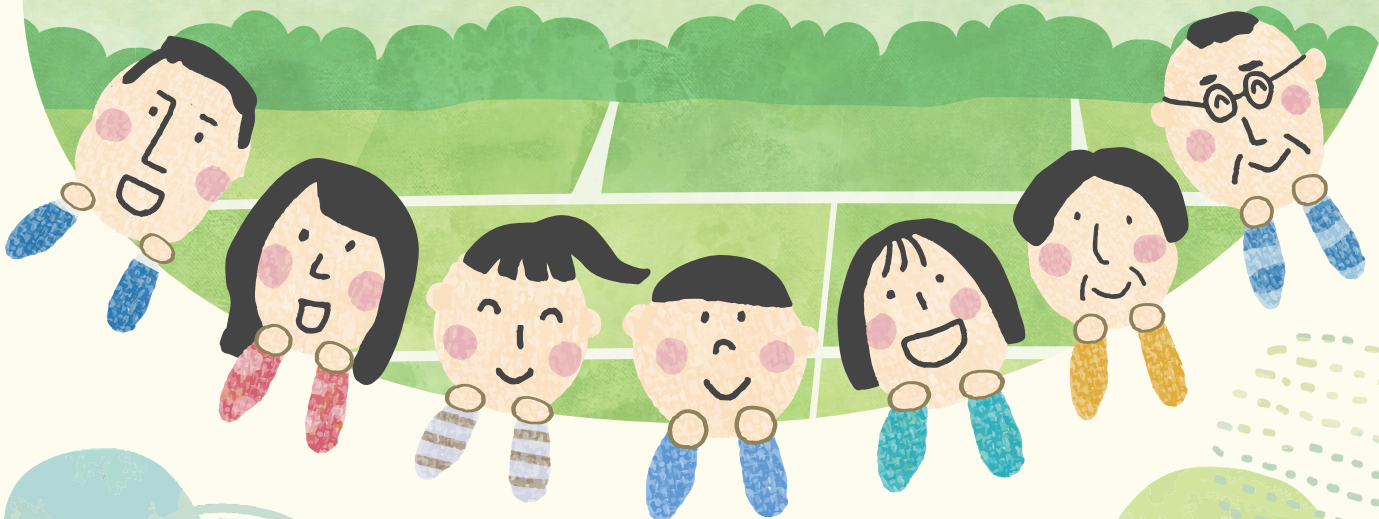


第2次

戸沢村教育振興計画



人をつなぎ 未来へつなぐ 響き合う 戸沢の教育



山形県戸沢村教育委員会

第2次教育振興計画策定に寄せて

村長 加藤文明

この度、第2次戸沢村教育振興計画が策定されました。村の教育は、社会力の育成を目標に共育を推進してまいりました。学校と地域が一体となった教育を、「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉にやってきました。少子高齢化や新型コロナウイルス感染症によって、地域との連携が弱体化している現状にあります。そんな中、この振興計画が策定されました。共育を継承しながらも現状にあった教育を考えると、「保小中一貫教育」を教育の中核にしたことは誠に時節を得たものと考えます。水害の心配のない高台に、保育園と義務教育学校が隣接して建っている教育環境を生かしたものとなっています。

村はこれまでもこれからも人づくりつまり教育には、力を入れていきます。ICT教育の環境もどこにも負けないものと自負しています。その中で、笑顔あふれる保育園・学園であってほしいという願いを強く持っています。学校に行くことを楽しみにしている子どもたちであふれる学校にしてほしいと思います。この計画がそんな教育環境を創っていく指針になることを願っています。村の宝である子どもを村民みんなと一緒に育てていきたいものです。

結びに、策定にかかわられた皆様に深甚なる感謝を申し上げ、あいさつとします。

人と人が響き合う教育の実現に向けて

教育長 市川重保

第2期戸沢村教育振興計画を策定することができました。第1次の教育振興プランの成果を踏まえさらに、変化の激しい社会の中で今何を大切にするかを考えて策定させていただきました。その内容は、大きな変化を生むものでもありませんし、時代の先端をめざしているものでもありません。目の前の子どもそして村の現状を基盤に、できることできそうなことそしてやらなければならないことは何かを考えて策定しました。真新しい言葉はありませんが、地に足の着いたものとなっていると自負しております。

共育の大きな成果は、人と人のつながりの中で学ぶ体験で生まれたものだと思います。それは、知的なものであり道徳的なものであり感情的なものであると考えます。人は一人では生きていけないとよく言われますが、同時に、一人では学べないとも言えるのではと考えます。学び合いと一緒に体験することで肌で感じる学びが生まれ、学びに深まりと広がりが生まれます。人と人のつながりそしてかかわりを大事にした学びを創っていきます。人と人がかかわりあうことで生まれる心地よい響き合いを願っています。

本計画は、理念や基本方針などを詳しく述べた文章編と見易さ・分かりやすさを重視して作ったものと2つのものを作成しました。策定に携わっていただきました佐藤雅彦学園校長をはじめ先生方、保育園の青柳晴雄園長・保育士の皆様そして事務局に、深甚なる感謝を申し上げ、お礼とします。

令和7年3月

目次

あいさつ	1
I 基本構想	4
1 計画策定の趣旨	
2 計画の位置づけ	
3 計画期間	
4 前プランの成果と課題	
II 基本計画	6
1 基本理念	
2 めざす姿	
3 基本の柱	
III 基本方針と具体的な施策と主な取組	
1 学校教育：保小中一貫教育で未来へつなぐ学びづくり	13
基本方針1 「未来につなぐ教育」	13
施策1 戸沢らしい学びの創造	13
施策2 こころを耕す幼児教育の推進	14
施策3 豊かな感性を育む体験活動の推進	15
施策4 体づくりと食育の推進	16
基本方針2 「誰一人取り残さない教育」	17
施策1 切れ目のない支援体制と多様な学びの推進	17
施策2 チーム学校でのサポート体制の構築	18
基本方針3 「地域とともにある教育」	19
施策1 コミュニティスクールと地域学校協働本部の一体化で共育の推進	19
施策2 人に学び夢を持つキャリア教育の推進	20
基本方針4 「学びを支える環境づくり」	21
施策1 主体的な研修と大学との連携	21
施策2 教育DXで働き方改革の推進	22

2	家庭教育：読書の推進と子育て支援の環境づくり	25
基本方針 5	「読書活動の推進」	25
施策 1	心のふれあいを広める読書活動の推進	25
施策 2	本のある環境づくり	26
基本方針 6	「学びの場・ふれあいの場づくり」	27
施策 1	安心して子育てできる環境づくり	27
施策 2	親子体験活動の推進	28
3	社会教育：人をつなぎ、みんなが学ぶ村づくり	31
基本方針 7	「共育の継続・継承」	31
施策 1	子どもと大人が共に学べる地域づくりの推進	31
施策 2	かかわりの中で学ぶ機会の確保と推進	32
施策 3	文化財と生活文化の保護・継承	33
基本方針 8	「健康づくりとスポーツの推進」	34
施策 1	生涯にわたる体力・健康づくりの推進	34
施策 2	生涯スポーツの推進	35
	策定委員会名簿	36



基本構想

1. 計画の趣旨

「共育の村戸沢」教育振興プランができて10年が経過します。この間、社会の急激な変化や動きの中で村の教育も変わらざるを得ない状況にあり、令和3年に後期プランを策定し、この教育振興プランに基づいて村の教育は進められてきました。

「共育」という言葉に込められた思いや考えは、戸沢の教育の基盤となりしっかりと根付いていると思います。しかし、急激に進んだ少子高齢化や新型コロナウイルス感染症による社会の混乱による影響が、教育の面においても大きく響いています。そのような現状と第2次教育振興計画の策定の時期とが重なった今、これからの村の教育の方向性を示すべく策定作業を行いました。

教育の中核：保小中一貫教育の推進

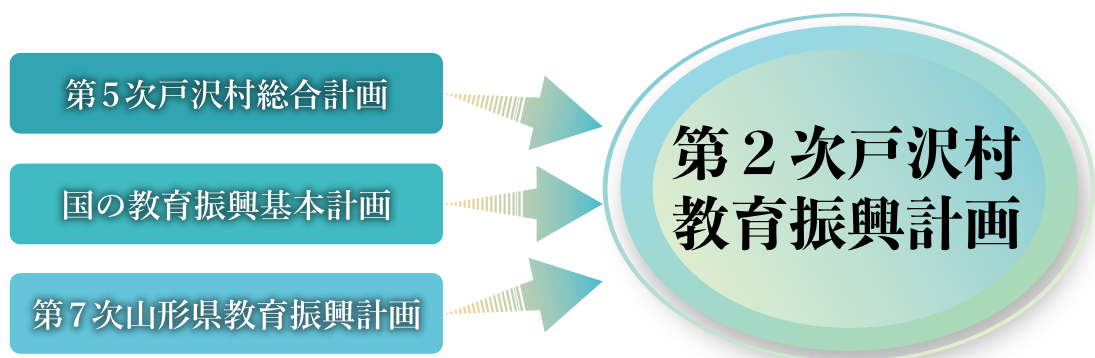
小学校4校、中学校2校を統廃合すると決まったとき、村の教育の大きな柱を「小中一貫教育」と英断されました。この考えに基づいて、村の教育は進められてきました。この考えを中核とし、さらに保育園も加え「保小中一貫教育」という考えで本計画は創られています。村の教育は、12年間のスパンで継続的に一人ひとりを大事にした教育の実現のための振興計画となっています。

2. 計画の位置づけ

教育振興計画は、村の教育の大綱を兼ねるものとして策定しました。つまり、基本理念、基本の柱そして基本方針は、村の教育の大綱とします。

第5次戸沢村総合計画の基本計画・基本方針4「文化と自然を大切にする心豊かな村づくり」そして施策である「保小中一貫教育で戸沢村の未来をつくる子どもを育む」を中核に教育振興計画を策定しました。

また、国の第5期教育振興計画と第7次山形県教育振興計画（案）の趣旨を踏まえ、村の現状との整合を図り策定しました。



基本構想

3. 計画の期間

本計画は、

令和7年度～令和11年度までの5か年

とします。

4. 前プランの成果と課題を受けて

急激な社会の変化の波は、ここ戸沢にも同じように押し寄せています。少子高齢化による地域社会の変化に、新型コロナウイルス感染症がとどめを刺したように地域コミュニティは崩壊の危機にあります。

これまでの成果を継承しながらも、現状にあった教育を展開して、村の教育のさらなる進化をめざしていきます。

戸沢の強みを活かす

地域の 強いつながり

コミュニティー
スクールの推進

抜群の 教育環境

一貫教育の推進
ICT環境の充実

体験活動 の蓄積

豊かな感性
の育成

課題を強みに転換

急激な 少子化

一人ひとりを
伸ばす教育

安定的な 学力向上

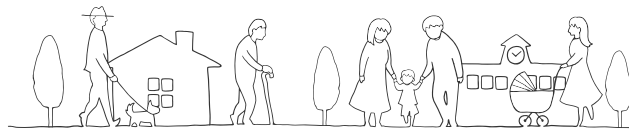
限りない可能性を
秘めた子ども
たちの存在

地域 との連携

新たな共育
の創造

基本理念

人をつなぎ
未来へつなぐ
響き合う
戸沢の教育



めざす子どもの姿

「人に学び 人とつながり
未来を切り開くたくましい子ども」

人をつなぎ

教育の継承
新たな共育の
創造

響き合う

かかわりの中で
生まれる美しい
調和

未来へつなぐ

未来に向かう
たくましい力の
育成

教育振興プラン「共育の村戸沢」の理念を継承しながらも、少子高齢化や急速な情報化社会という現状を踏まえて、学校での学びを核とした共育を創っていきます。人と人をつなぎ、共に学ぶ中で、たくましい心と確かな学力を育てていきます。

さらに、子どもと子ども、子どもと大人そして大人と大人を学びでつなげていくことで、元気のある活気に満ちた人づくり・村づくりにつなげていきます。

基本の柱

01

保小中一貫教育で未来へつなぐ 学びづくり

- ・戸沢らしい学び
- ・体験活動で感性の育成
- ・異学年交流で豊かな心
- ・教育 DX で学びの最適化
- ・コミュニティスクールと地域、学校協働本部事業の推進
- ・共育カリキュラムの拡充
- ・キャリア教育で人づくり

たくましい心
確かな学力

02

読書の推進と子育て支援の 環境づくり

- ・親子のふれあいで心の安定
- ・保護者の学習機会の確保
- ・子育て環境の整備
- ・本のある環境づくり

03

人をつなぎ、みんなが学ぶ 村づくり

- ・大人の学びの場の創造
- ・地域で子どもとかかわる場の設定
- ・生涯スポーツの環境づくり

学校教育は、小中学校の統廃合時からの教育の大きな柱であった「小中一貫教育」に幼児教育を加えて「保小中一貫教育」を柱としました。

家庭教育は、「読書の村とざわ」を掲げ取り組んできた成果を継承し読書を核とした親子の心のふれあいを前面に出し、子育て支援の環境づくりを柱としました。

社会教育は、共育の継承と子どもから大人まで学ぶ生涯学習社会をめざした環境づくりを柱としました。

学びづくり



学びの基盤である「意欲」を
育てる「戸沢らしい学び」を
創造します。

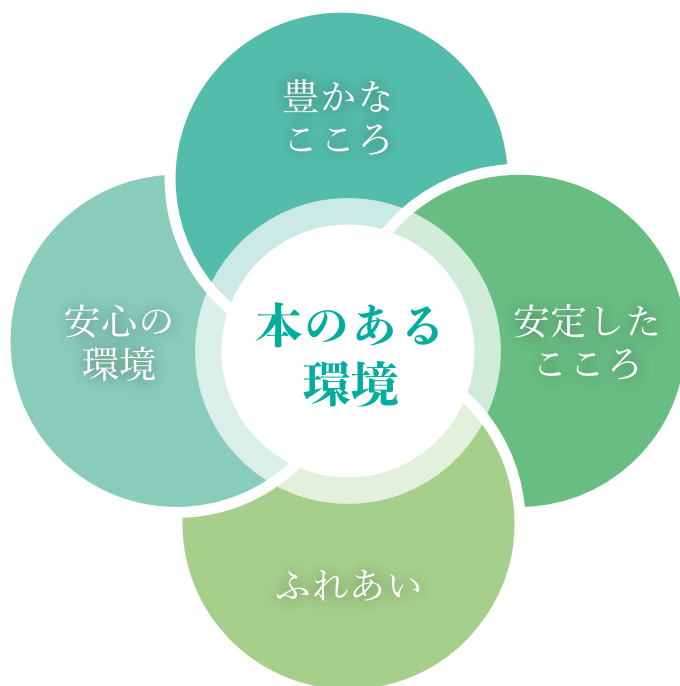
義務教育学校らしい系統立て
た指導と教科担任制による質
の高い授業で、学力の向上を
目指していきます。

学びで育てる力＝学びに向かう力（意欲）

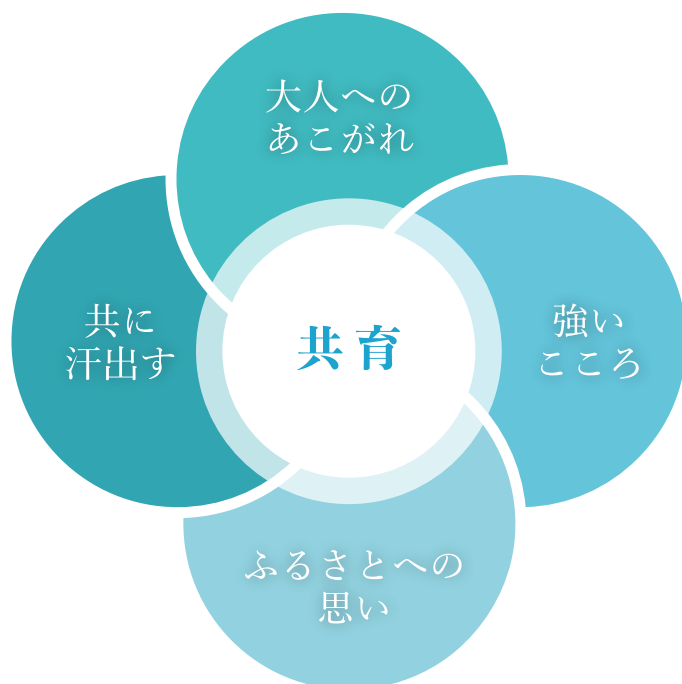
家庭での学びづくり

家庭教育

家庭は、子供にとっても大人にとっても生活の基盤でありやすやぎの場です。同時に、大切な学びの場でもあります。人としての躰の部分だけでなく、心・知・体の基本が培われる大事な場です。読書を核に、「こころ」が育つ家庭教育の支援を心がけていきます。



みんなで学ぶ村づくり



社会教育

共育を推進してきた中で、子どもは大人からたくさんのことを学んでいます。同時に、大人も子どもから学んでいます。この相互関係をこれからも機会を見つけて継続していきます。大人が子どものモデルになる生涯学習社会をめざし、元気な村づくりを共にやっていきます。

基本の柱 1

保小中一貫教育で未来へつなぐ学びづくり

基本方針と主な施策

主な施策と取組

戸沢らしい学びの創造

◇ 発達に即した系統的な学びで確かな学力の育成を推進します。9年間の系統性を大事にした戸沢の学びを創っていきます。

- ★ 「とざわの学び」の確立と英語教育の推進
- ★ 9年間を見通した探究学習の計画・実践



◇ 「そろえる教育」から「一人一人を伸ばす教育」へ指導観を転換し、子ども主役の授業づくりを推進します。

- ★ ICTを活用した個別最適な学びによる学力の向上
- ★ 体験活動による実感の伴った理解
- ★ 教科担任制の充実



【評価指標】

- 全国学力学習状況調査で全国平均と同等の結果を達成。
- 学習が楽しいという子どもの割合を全国平均以上。
- タブレット活用が得意な教員の割合を80%以上。
- AI教材で個の学びの見える化を実現。
- 教科担任制をすべての学年で実施。

主な施策と取組

こころを耕す幼児教育の推進

◇ 遊びを中心とした生活の中で、学びの基礎となる好奇心や探究心、協調性や忍耐力、自尊感情などの非認知能力の育成に取り組みます。

- ★ 大学連携による遊びの研究の充実
- ★ 発達に応じた多様な活動と外部講師の活用
 - ・ 英語に親しむ活動 ・ 運動を楽しむ活動
 - ・ 絵画や表現を楽しむ活動 等



◇ 接続カリキュラムでスムーズな接続を図り、切れ目のない一貫教育を推進します。

- ★ 学園との合同研修会の実施
- ★ 接続プログラムの研究・実践
- ★ 保育園のDX化の推進



【評價指標】

- ドキュメンテーションを保育士全員が月1回以上実施。
- 保護者のアンケートを基に、非認知能力の成長を年間比較で測定。（年間10%以上向上）
- 小1ギャップの発生頻度（20%減少）や、保育園での育成目標の達成（80%以上の満足度）を評価する職員アンケートの実施。

主な施策と取組

🌈 豊かな感性を育む体験活動の推進 🌈

◇ 直接体験を通して豊かな感性を育てます。さらに、音楽や絵画、書道と太鼓やお囃子等の伝統文化にも触れる体験を意図的に設けます。

★ 村の自然を生かした体験活動：最上川いかだ下り等

★ 芸術文化に触れる本物体験事業の推進



◇ 異年齢の交流や地域の方々との関わりの中で学ぶ機会を計画的に設定します。

★ 学園でのきずなプロジェクトや行事での取組

★ 地域での活動への参加や社会福祉協議会との連携の充実



【評価指標】

- 相手に思いやりの気持ちを持って接することができる児童・生徒の割合が80%以上。
- 自分には良いところがある、自分のことが好きと感じる児童・生徒の割合が85%以上。
- 将来の夢や希望を持っている児童・生徒の割合が85%。

主な施策と取組

体づくりと食育の推進

◇ 運動が好きな子どもを育てるとともに体力の向上に取り組みます。

- ★ 運動に親しみ、楽しさを味わうミニクラブ・体操教室の実施
- ★ 教科体育の充実



◇ 地産地消をはじめとする身近な関わりの中で、子どもも大人も食育を学ぶ機会を設定します。

- ★ 主体的に関わる食育指導と保護者の研修会の実施
- ★ 地産地消給食や郷土料理給食の実施



【評価指標】

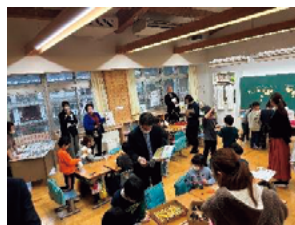
- 全国体力・運動能力テストの結果が全国平均と同等。
- 運動することが以前より好きになった児童・生徒の割合が 85%以上。
- 戸沢村の食べ物や食文化に興味を持つことができたという児童・生徒の割合が 90%以上。
- 欠食せず 3 食食事をする児童生徒の割合が 90%以上。

主な施策と取組

切れ目のない支援体制と多様な学びの推進

◇ 幼児期からの相談体制の確立と保小中一貫教育で切れ目のない支援体制を構築します。

- ★ 巡回相談の実施 ★ 個別の教育支援計画の活用・評価
- ★ 保小中一貫教育推進委員会の計画の推進



◇ 発達特性の理解とインクルーシブ教育の構築を行います。

- ★ チーム担任制による支援の充実 ★ 研修の機会の確保
- ★ 交流学习や共同学習の推進



【評価指標】

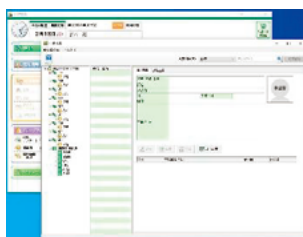
- 巡回相談と教育相談結果を活かした個別の教育支援計画・指導計画への支援方法の記載が 100%。
- 個別の教育支援計画の活用・評価・改善と保護者との共有の実施が 100%。
- チーム担任制を推進し、子どもの長所や強みを活かした教育活動を実施。(学校評価で)

主な施策と取組

チーム学校でのサポート体制の構築

◇ 学校だけで解決できない問題への組織体制の構築を行います。

- ★ スクールソーシャルワーカーの単独配置
- ★ 他機関と連携したケース会議の定期的な開催



◇ 不登校を早期に発見し対応するために、校務支援システムを一元化し、校内サポートルームを設置します。

- ★ 情報収集や支援体制強化のための校務支援システムの活用
- ★ 校内サポートルームと教育支援センターの設置



【評価指標】

- スクールソーシャルワーカーとの情報共有を密にした、不登校傾向や問題行動に対する速やかな対応。（対応率 90%以上）
- ネットワークを活用した教育委員会と学園の速やかな情報共有と、最適な支援の実施。
- 教育支援センターと校内サポートルームの設置による、不登校児童生徒や保護者への支援の実施。
- 新規不登校 0 の達成。

主な施策と取組

🌈 CS と地域学校協働本部の一体化で共育の推進 🌈

◇ 共育カリキュラムで地域資源を活用した探究的な学びを推進し、ふるさとへの思いを醸成していきます。

- ★ 共育カリキュラムの改善・深化
- ★ 学びを支える地域学校協働活動



◇ 地域学校協働本部事業で地域をフィールドとした活動を実施し、地域みんなで子どもを育てる意識の深化と継続を図ります。

- ★ SDG s の視点を取り入れた親子体験活動
- ★ 地域人材の活用を図った体験活動



【評価指標】

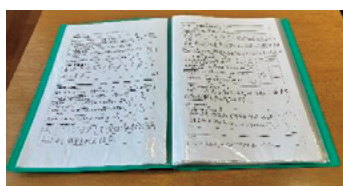
- 地域や社会のために自分ができていることを考えている児童・生徒の割合が 85%。
- コミュニティスクールと地域学校協働活動に関する成果を認識している教職員や地域住民の割合が 90%。

主な施策と取組

🌈 人に学び夢を持つキャリア教育の推進 🌈

◇ 地域と連携して子どもの学びや成長を支えることで、夢や希望を持ち、未来を切り開いていく力を育てていきます。

- ★ 系統的・組織的な指導
- ★ キャリアパスポートの活用の推進



◇ 地域で活躍する大人の姿を通して、働くことや地域の発展に寄与することを学ぶ機会を設定します。

- ★ 地域との連携・協働による活動
- ★ 地元企業や大学との連携した職業体験



【評価指標】

- 自分には良いところがあると感じる児童・生徒の割合が 90%。
- 将来の夢や希望を持っている児童・生徒の割合が 85%。

主な施策と取組

主体的な研修と大学との連携強化

◇ 教育課題である学力向上や ICT 教育について、これまで以上に大学との連携を強化し、研修の充実を図っていきます。

- ★ 学校の主体性が発揮できる大学との連携強化
- ★ 校内研究への教育委員会の伴走支援強化



◇ 共育推進研究所の委員会の活動や研修視察の機会の確保を行い、教員の資質の向上に積極的に取り組めます。

- ★ 共育推進研究所の委員会の計画的な運営
- ★ 先端教育研修の実施



【評価指標】

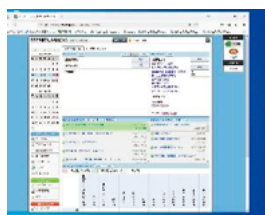
- 大学連携による授業研究会を年 5 回以上。
- NRT テストで各学年の平均偏差値 50。
- 研修会や伝達講習等が確実に実施され、OJT が確立していると感じている教職員の割合が 90% 以上。

主な施策と取組

教育 DX で働き方改革の推進

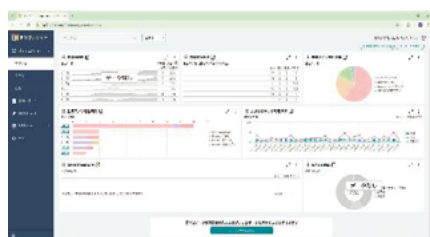
◇ 校務のデジタル化を進め、子どもと向き合う時間と教材研究ができる時間を確保します。

- ★ 校務におけるクラウド統合型校務支援システムの導入
- ★ コミュニケーションツールを利用した情報共有の推進



◇ AIドリルやCBTの活用で、児童生徒のスタディログを蓄積し、基礎学力の向上につなげていきます。

- ★ AI教材やCBTの積極的な活用
- ★ 教育データの分析や活用



【評価指標】

- 時間外在校等時間が45時間を超える教職員の数が0人。
- 校務システムの導入により効率化が図られたと感じている保育士・教員の割合が90%。
- 授業や家庭学習におけるICT機器の活用が週3日以上。
- AIドリル等の活用により、自分の学習状況を把握し、次の学習に生かすことができたと感じる児童・生徒の割合が90%以上。

基本の柱 2

読書の推進と子育て支援の環境づくり

基本方針と主な施策

主な施策と取組

心のふれあいを広める読書活動の推進

- ◇ 家庭での親子読書・読み聞かせを通した心のふれあいで感性を育み、子どもの安心感や親子のよい関係づくりを行います。
 - ★ ブックスタート事業、絵本のプレゼント
 - ★ 「えほんの森」の開催
 - ★ 図書室イベントの開催
 - ★ 家庭の「読み聞かせ貯金」の奨励
- ◇ 全ての家庭に本を介したふれあいを学んでもらう仕組みを作ることと、子どもたちが本を身近に感じ、読書を楽しむ習慣を育みます。
 - ★ 乳幼児健診での親子参加の読み聞かせ
 - ★ 読み聞かせ講演会の開催



【評価指標】

- 乳幼児期において、家庭での読み聞かせを毎週3回以上実施する家庭の割合が50%以上。

主な施策と取組

本のある環境づくり

◇ 気軽に本を手にする機会を提供することで、家庭での読書、読み聞かせを広げています。

- ★ 移動図書室カーによる出張貸し出し
- ★ 「絵本お譲り会」の開催
- ★ 移動図書室設置の拡大

◇ おすすめの本、新刊の本等、本自体の情報やイベント、研修会の情報をより多くの方に広報し、関心を高めていきます。

- ★ とざわ広報・チラシ・SNS による本の紹介と企画の発信



【評価指標】

- 年間貸し出し冊数を 20% 増加。
- 図書室（移動図書室も含める）、年間イベント来場者数を 30% 増加。

主な施策と取組

安心して子育てできる環境づくり

◇ 子育てしやすい環境整備と全ての家庭への学習の機会及び相談支援を充実させます。

- ★ 子育て研修会の実施
- ★ 子育て相談体制の充実
- ★ 保育園、学校の給食無償化



◇ 幼児期から基本的な生活習慣とメディアとの適切な関わり方を身に付け、心身の良好な発達と学びの土台づくりを目指します。

- ★ 「とざわ5つの習慣」の啓発
- ★ 幼児期からのメディアコントロール



【評価指標】

- 研修会への参加を 100%。
- 「とざわ5つの習慣」を意識している親の割合を3年間で80%に増加。

主な施策と取組

親子体験活動の推進

◇ 親子体験活動により親子の信頼関係を築き、社会的スキルや言語能力の発達、感情の安定などを目指します。

- ★ 魅力的なプログラムの開発と、参加者の声を活かした広報
- ★ 社会教育団体との連携
- ★ 情報交換会や子育ての先輩と語る会の実施

◇ 親子の信頼関係を深め、社会で生き抜く力を育むために、日常の家庭生活の中での親子体験を推進します。

- ★ 「我が家のお手伝い」紹介
- ★ 「我が家の遊び」紹介



【評価指標】

- プログラムへの現在の参加者数を2年間で50%に増加。
- 親子での体験を重視している家庭の割合を3年間で60%に増加。

基本の柱 3

人をつなぎ、みんなが学ぶ村づくり

基本方針と主な施策

主な施策と取組

子どもと大人が共に学べる地域づくりの推進

◇ 戸沢村地域学校協働本部と戸沢学園学校運営協議会の連携・協働により、共育の理念を引き継ぎながら、ふるさと戸沢に誇りを持つ子どもを地域全体で育みます。

★ 地域学校協働本部による子どもの体験活動充実のための、放課後子ども教室の開催や親子講座の開催



◇ 共育団体の活動が「村の宝」として途絶えることなく次世代に受けつがれていくよう、地域学校協働活動と関連させた仕組みを整えます。

★ 地域共育活動団体への支援の継続と地区子供会への支援の強化



【評価指標】

- 放課後子ども教室と親子体験講座の開催と参加者の増加。
- 共育活動団体が持つ教育力（企画・運営力、手わざなどの伝承文化等）が異世代交流の中で継承。
- 地域共育活動団体の継続。廃止団体ゼロ。

主な施策と取組

かかわりの中で学ぶ機会の確保と推進

◇ 地区公民館を「大人の学びの場」として学びの拠点とし、大人同士が学びを通じて関わり、地域の絆を深めます。

★ 地区や他機関との連携による大人の学びの場の設定



◇ 多世代が交流し、「ひと・もの・こと」との関わりを大切にした「戸沢らしい学びの場」を大切にします。

★ 地域活動への参画を視点にした「ひと・もの・こと」と関わりながら学ぶ場の充実



【評価指標】

- 「地域活動に参加している」割合の増加。
- 地域の公民館を活動拠点とした生涯学習的活動の年間3回の実施。

主な施策と取組

文化財と生活文化の保護・継承

◇ 「戸沢村にあるもの」「自分の地域にあるもの」に再び目を向け、創意工夫する中で、ふるさと戸沢を愛する心と故郷を大切にする人材を育成します。

★ 地域共育活動団体への支援の継続と地区独自の活動への支援



◇ 見学や体験を通じて村・地域の宝である文化財の良さを実感する機会を拡充し、戸沢村にある文化財に誇りを持てる村民を育成します。

★ 村の文化財の保護活動と文化財の周知



【評価指標】

- 村または地域・地区単位による戸沢村や最上川に関わる活動の企画運営。
- 村の広報への文化財の掲載。

主な施策と取組

生涯にわたる体力・健康づくりの推進

◇ 運動が好きになり、乳幼児期から親子で体力健康づくりに取り組めるよう、家庭・地域・学校と連携した活動を推進します。

★ ミニクラブの実施



◇ 乳幼児から高齢者までがライフステージに応じてスポーツに親しめるように物的環境の整備と人材育成を推進します。

★ ライフステージに応じた、系統性のある「体力・健康づくり」に関わるプランの作成



【評価指標】

- ライフステージに応じた一貫した体力・健康づくりの実施。
※乳幼児期から義務教育終了までを重点にした取組。
- 運動が好きな子どもの割合が 100%。(アンケート調査の実施)

主な施策と取組

生涯スポーツの推進

◇ 部活動の地域への完全移行を視野に、総合型地域スポーツクラブと学校部活動との連携を推進し、人材育成を図りながら、スポーツに親しみやすい環境づくりを推進します。

- ★ 全ての部活動で休日の地域展開の体制整備
- ★ 平日の部活動の地域展開の取組



【評価指標】

- 戸沢学園中等部の部活動全てにおいて地域展開の体制が完了。



第 2 次教育振興計画策定委員名簿

	氏 名	所 属	部 会 等
1	佐藤 雅彦	戸沢学園 校長	策定委員会委員長
2	青柳 晴雄	戸沢保育園 園長	副委員長
3	鈴木 誠	戸沢学園 教頭	学校教育部会長
4	吉田 忍	戸沢学園 教頭	家庭教育部会長
5	柿崎 健	戸沢学園 教頭	社会教育部会長
6	渡辺 麻美	戸沢学園 教諭	学校教育
7	大竹沙矢佳	戸沢学園 教諭	学校教育
8	高橋 恵	戸沢保育園 主任保育士	学校教育
9	荒川 敬子	戸沢学園 教諭	家庭教育
10	森 めぐみ	戸沢保育園 主任保育士	家庭教育
11	竹田 典史	戸沢学園 教諭	社会教育
12	市川 重保	教育長	事務局
13	清水利枝子	共育課長	事務局
14	高橋 恵	学社融合主幹	事務局
15	高橋 俊子	共育課長補佐	事務局
16	横山 愛	共育課学校教育係長	事務局
17	加藤江利子	共育課社会教育体育係長	事務局
18	森 歩美	共育課主査	事務局
19	荒川 良太	共育課主査	事務局
20	佐藤 亜澄	共育課主事	事務局

第 2 次 戸沢村教育振興計画

2025 年 3 月発行

発行：山形県戸沢村教育委員会

住所：山形県最上郡戸沢村大字名高 1593-86

電話：0233-72-32-42

デザイン：さとうふみデザイン事務所

印刷：新光印刷株式会社